



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

党ができて9年間、弱い者、困っている人の味方一直線の共産党。

困ったことは小沢、岡本のなんでも相談へ

①9月議会小澤良一議員の代表質問 ②箱根水系河川の土砂堆積 ③中央公園吊り橋の板が腐食して危険 ④前号で指摘の東中下の道路標示板が見えるようになりました

**9月議会が始まります
小澤議員の代表質問は
9月9日(月)の午後です
傍聴をお願いします**

1. 裾野の大手企業の今後

①トヨタ東日本KK裾野工場は、事業の縮小が言われている。この点について市当局が把握している事業縮小計画について報告をして欲しい。それに対してして裾野市はどのような対応をされているのか伺う。

②キャノン研究所従業員400人が減員されたが、今後の従業員増員計画は企業より聞いているのか伺う。市として従業員を増やして貰うのにどのような行動をしているのか伺う。

③トヨタ東富士研究所のこれからについては車両開発部門の移転計画は確実になっている下で、今後の研究所の存続は裾野市に重要な課題である。次世代エンジンを搭載した燃料電池車両普及を裾

野市としてどのように取り組んで行くのか伺う。2015年ごろには市販車が出て、そのための水素ステーションの建設が4大都市を重点に始まり、この都市を結ぶ道路沿いにステーションの建設の計画もあると聞く。裾野市として水素ステーション建設地として名乗りを上げる考えはないか伺う。

大阪府は自治体を挙げて燃料電池自動車に対応しようとしているが、静岡県はどのような考えを持っているのか伺う。

④今後自動車車体として「カーボン」使用が考えられて研究が進められている。裾野市の企業でも試作品を発表するなどしているが、製品化が軌道に乗れば裾野市の車体生産も新たな局面を迎えることになると思うがどのくらいこの分野の情報を持っているのか伺う。

2. ゴミ経費の節減対策

① 資源ゴミの中で、新聞・雑誌・段ボールを古紙回収業者が自治会の集積地にコンテナを置き収集している。自治会に古紙売却代が入るとも聞いている。この

方式ができる自治会が増えれば裾野市の経費も節約できるのではないかと考えるが実現性について伺う。

② 生ゴミは夏場になると水分を含んだ食物が増えて生ゴミの量が増えてくる。裾野市は個人的ものを含めて生ゴミ処理機(器)による減量処理をしているが、生ゴミの焼却処分が主流である。堆肥化を含めて処分の方法の転化は考えていないのか伺う。

3. 疾病予防 と医療費低減



生活習慣を改善するために、保健師が地域に出かけて地域住民と膝を突き合わせて、健診のデーターを基に生活改善すべき点を話し合い具体的指導してきたことがある。このことは保健師にとっては大変な労働力で経費も要することで継続をする事はできなかった。この経験を踏まえて地域保健委員の育成で罹患する要因を減らそうとしたが、十分な成果を生み出すに到っていないのが現状ではないのでしょうか。市として食生活や運動不足が及ぼす影響を罹患予防運動として、例であるが音楽 を楽しみ飲食をしながら学んでいく小規模な取り組みを考え普及していくことはできないのか伺う。

4. 放置しない行政

お金がないことを理由にして問題点を解決する姿勢がみられないのはどうゆうことなのか。例えば、市民運動公園のジャンボ滑り台が故障で使えない。市道の路側帯や外郭線の白線消え。庁舎の外通路と通行止めと進入禁止表示問題解決とそのための執行がされないのはどうしてなのか伺う。

箱根水系泉川などの土砂堆積がひと危険との声



泉川水系を3カ所調べました。上流部の南堀、深良町田は土砂の堆積と水草の繁茂が目立ちました。下って公文名三角橋下流では水草は刈られていましたが、土砂の堆積は上流部より進んでいます。ここの写真より公文名石舟橋上流部鹿島

神社までは土手が低く河川の容積がありません。溢れて当たり前の構造です。ここで溢れると泉川西岸部の公文名、稲荷など広い地域が被害を受ける可能性があります。この状態は 1990 年 9・15 豪雨のあとも改善されていません。



入田川の堆積は予想通りひどいものです。この上流部と下流部は 5～6 年に一度は氾濫するところ。特に下流部は河川が狭く浅くなり、向田小上流部の橋のところでは、この写真の所の四分の一程度の河川容積しかありません。裾野市内ワーストワンの溢れて当たり前の所。県が対応をする事を決めたという話もあったと思うが、その後、根本的対応はとられていない。再度働きかけが必要。

大場川も土砂の堆積と水草の繁茂がひどい。川がどこにあるかわからない状態。



大場川(境川)上流部も見に行きました。そこにあったのは一般的な砂防ダムではなく、平常時は土砂を流すが、豪雨災害時には流木を止め流木でダムを形成し土石流も止めるという役目のスリットダムです。愛鷹山と比べて箱根山は若い



山ですので、どんどん山が削り続けられている山です。一般的な砂防ダムでは一度の台風で埋まってしまうこともありえるのでこんな構造で対処しているのでしょうか。

泉川も入田川も大場川も大変な状態で

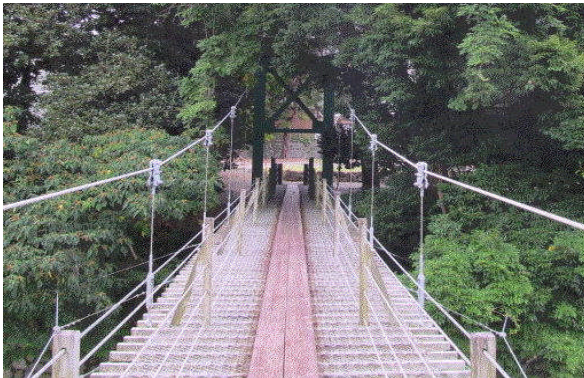


腐食の状態を見ると樹木の下の踏み板の中央部が殆どです。樹木の落ち葉が踏み板に落ちていつも水分がある状態があり、このような腐食が進んだのではと考えます。踏み板の上の落ち葉の清掃をやることで補修したあとも必要ではないかと考えます。



した。これから台風のシーズン。これら三河川は一級河川ですので県の管理になります。市から県へ早急の対応をお願いすべきですね。被害が出る前に手を打つべきだと思います。

五竜の滝の吊り橋の踏み板が腐って穴が空いてが危ない!!との声が寄せられました



前号で指摘の東中下の道路標識。覆い被さっていた木が切られ見えるようになりました。下の写真は切る前。

五竜の滝の吊り橋です。腐って穴が空いているところは吊り橋に樹木が覆い被さっているところだという。カメラ片手に橋を揺らせながら急行。

なるほど大きな穴が空いています。小さな子どもの足だと挟まれそうです。大人でも蹴けつまつく 躓く危険性があります。市内一番の観光地で、その中でも一番の呼び物施設の吊り橋がこれではこれからの秋の行楽を控えて情けなくなります。

お詫び訂正

前号の「日本の合唱団 ロシア公演」記事で「池辺真一郎」氏は「池辺晋一郎」氏の間違いでした。偉い人の名前を間違えたのでお叱りを受けました。

